

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	アジア経済論研究	不可

下記の文章を読んで、問いに答えなさい。

産業革命前の世界の主要産業が農業であった時代において、アジアはとても豊かな地域であった。中国、インド、朝鮮半島、日本、東南アジアにおける合計所得は当時の世界全体総所得の6割近くを占めていた。しかし、19世紀の30年代にイギリスの産業革命の波が順次欧米へ波及していくなかで、アジアは産業革命の波に乗れず、工業化が遅れてしまった。それが要因となり、20世紀の70年代初頭までに、世界はアジアを「貧困」、「停滞」の地域と見なしていた。日本の高度経済成長（1955～1973）をきっかけに、アジアは再び活気を取り戻し、1970年代には、韓国や台湾、香港、シンガポール、1980年代にはASEAN、1990年代には中国、ベトナムが成長するなど、アジア地域はいまや世界で一番高い経済成長を持続している地域となっている。これらの国・地域の中で、自身が一番成長著しいと思う国・地域を一つ例に挙げて、その国・地域の工業化の状況について論じなさい。

# 令和8年度 国土館大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	アジア経済論研究

### ■出題の意図

アジアの工業化について、経済学理論だけでなく、アジアの歴史、民族・政治体制などといったアジア特有の要素も含めて、多面的視点で論点整理ができるかを図る。

### ■採点のポイント

- ・アジア工業化の歴史について、どの程度の知識を有し、理解しているか。
- ・例に挙げた国・地域の工業化の状況について、正しく述べられているか。
- ・設問に対し、論理的に述べられているか。
- ・記述が一定の分量に達しているか。